

みずほ通信

令和元年7月7日

今年の梅雨入りは統計開始以来一番遅かったそうそうですね。
油木ダムの貯水率も10.7% (6/26現在)とニュースで言っていました。田んぼの水は大丈夫でしょうか。水不足になっても困りますが、この2・3年の豪雨にも困ったものです。雨が降ったら降ったでゲリラ豪雨になり、甚大な災害をもたらします。何より、命が一番大事です。
危険と感じたら、避難所へ行きましょう。逃げるが一番！！

7月の予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 園内診療 	5	6
7 面会日	8	9 工賃支給 	10	11 園内診療 井筒屋買い物	12 園内売店 	13 コンビニ外出 
14	15	16	17	18 園内診療 	19	20
21	22	23 園内売店 	24	25 園内診療 食事会	26 誕生会	27 コンビニ外出 
28	29	30	31 絵画教室			
<p>8月は、お盆帰省のため、面会日はお休みです。 お盆帰省の期間は、8月9日～8月16日です。</p>						

第46回 開園記念日は、永年勤続表彰と記念講演会が、行われました。

永年勤続表彰には、2名の方が表彰されました。(勤続満15年)
表彰者には、施設長より表彰状と金一封・特別休暇5日間の目録が贈呈されました。
2名の方に表彰の喜びと、今後の抱負について語っていただきました。

江藤 美沙様

この度は、私たちのために表彰式を催して頂きありがとうございました。
入職し、15年。たくさんの経験をさせて頂き、周りの方々の支えがあってやれてこれたことに感謝しています。入職当初と気持ちは変わりませんが最近すごく歳を感じる事が多くなりました。若い利用者さんも増え、支援員として良き相談相手になれる様、今後も気持ちを若く持ち頑張っていこうと思います。

(旧姓 山内さんで昨年11月、江藤家に入籍されました。おめでとうございます。)



田所 佳代子様

この度は、私たちのために表彰式を催していただき、ありがとうございました。

15年の月日は本当にあっという間に感じます。
入職したときは、20歳で、何もかもわからず、先輩方についていくのがやっとでした。その時の先輩方の姿は雲の上のように感じていました。今の私が、その頃の先輩方にどれ程近づけているかはわかりませんが、日々全力疾走してきた気がします。

入職当初より、利用者さんの笑顔にたくさん助けていただきました。
今後も、利用者さんの笑顔を増やすために精一杯頑張っていきます。



記念講演会には、宮崎中央新聞の編集長の水谷もりひと様が講演されました。

演題は「宇宙の真ん中に私がいる。」でした。

特に記憶に残っているのが、「三つの宝物」でした。

①祖先

自分がここにいるのは、両親がいるから。その両親にもお互いの親がいたから。その前も、その前も……。もし、どこかでこのつながりがなかったら自分はいない。

②自分という宝物

先祖伝来の命のつながりがあったからこそ、今の自分がある。その自分を大切にしてください。

③「日本という宝物」

今住んでいる日本ほど豊かで、安全で、安心して暮らせる国はない。そんな日本を誇りに思い、大切にしてください。

次に、「満月の法則」の話でした。

三日月はなぜ美しいか。

月の満ち欠けは、太陽からの光が地球にあたり月に影ができるからです。

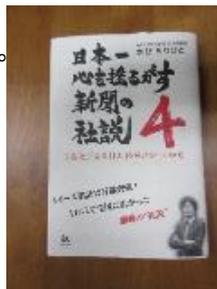
2週間ごとに、新月と満月を規則正しく繰り返し、その間に半月→三日月→半月→満月となります。

「三日月の美しさは、欠けているおかげ。」と話されました。

私もその事は思っていました。太陽の朝日が山や、水平線より出てくる瞬間。逆に夕日が山や水平線に沈む瞬間。美しく輝いて見えます。ダイヤモンド富士のように。

なぜ「三日月は美しいのか。」皆さんはどう解釈されますか。

この日に販売された水谷もりひと氏が編集された「日本一心を揺るがす新聞の社説 4」を購入しました。「感謝」「美德」「志」を届ける41の物語と表紙にあります。一遍が4～5ページでとても読みやすい物語です。どのページを読んでも心洗われる物語ばかりです。今の世の中「感謝」「美德」「志」が少なくなったような気がしていた中、このような本に出合えて良かった。皆さんも是非読んでみてはいかがでしょうか。購入御希望の方は、事務所まで。



虐待等防止委員会よりお知らせ

年2回実施しています、臨床心理士「たまや」所長 高橋正泰氏の虐待防止に向けての、利用者さんへの聞き取り調査が行われました。

平成30年度には、学園内からの虐待等に関する報告はあっておりません。引き続き委員会活動を通して虐待防止へ向けて、職員一丸となり取り組んでまいります。

(利用者さんへの聞き取り状況)→

(虐待等防止委員会 会長 森添 弘幸)



職員紹介No.7は、紙野宏基さんです。

※福祉業界で、最も難関の資格である「社会福祉士」に平成31年3月に合格された紙野宏基さんを紹介します。

こんにちは。先月号で紹介を受けました紙野宏基です。

今年に入り新しい家族が増えました。入職して今年で6年目となりますが父親としては新人であり日々育児に奮闘中です。

息子はもうすぐ6カ月になります。私は息子の入浴を担当しており、仕事を終え帰宅した後は必ずお風呂に入れます。

一緒に過ごしている中で、少しずつできることが増え、成長していく姿を見ることがとても嬉しいです。

一日中、育児を頑張っている妻には頭が上がりませんが、今後も一緒に悪戦苦闘しながら育児を楽しんでいこうと思う

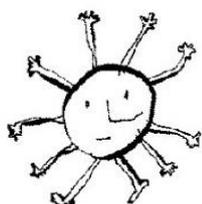
今日この頃です。

息子の成長に負けないよう仕事もちろん頑張っていきますので

皆さんこれからもよろしく願いいたします。

次号は、浦野里美さんにバトンを渡します。

(氏名や写真掲載は、利用者様・ご家族様の了承を得ています。)



社会福祉法人 瑞穂学園

福岡県田川郡赤村大字内田1474〒824-0432
TEL 0947-62-2129(代) Fax 0947-62-2900